

# 大衆文化から考える日韓の「65年体制」

北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院  
平成27年度 公開講座

2015年 6月1日~22日 毎週月曜日 午後6時30分~ 8時00分

メディア・コミュニケーション研究院  
准教授 金成玟（キム・ソンミン）

1965年、日韓両国の国交が正常化しました。今年、その日韓国交正常化50周年の年となります。「65年体制」における日韓は、世界中のどの国よりも多くの経験を共有する隣国としてあり続けました。その経験を、政治や経済ではなく、文化の側面からとらえてみると、これまでとは違う新たな日韓が見えてきます。日韓の「関係」は人びとのさまざまな欲望やまなざし、戦略によって築かれてきたからです。本講座では、アメリカ、テレビ、東アジア、グローバル、韓流などのキーワードとともに「65年体制」の文化的性格をとらえながら、いまこの日韓のあり方について考えていきます。

## 日程と概要

- 第1回 6月1日  
抑圧と欲望の戦後—日韓におけるアメリカと大衆文化
- 第2回 6月8日  
テレビの時代—高度成長と開発独裁、そして日韓関係
- 第3回 6月15日  
境界の再構築—東アジアのグローバル化と日韓のメディア
- 第4回 6月22日  
日韓融合の時代—韓流・嫌韓をのりこえて

主催 北海道大学メディア・コミュニケーション研究院  
後援 札幌市教育委員会